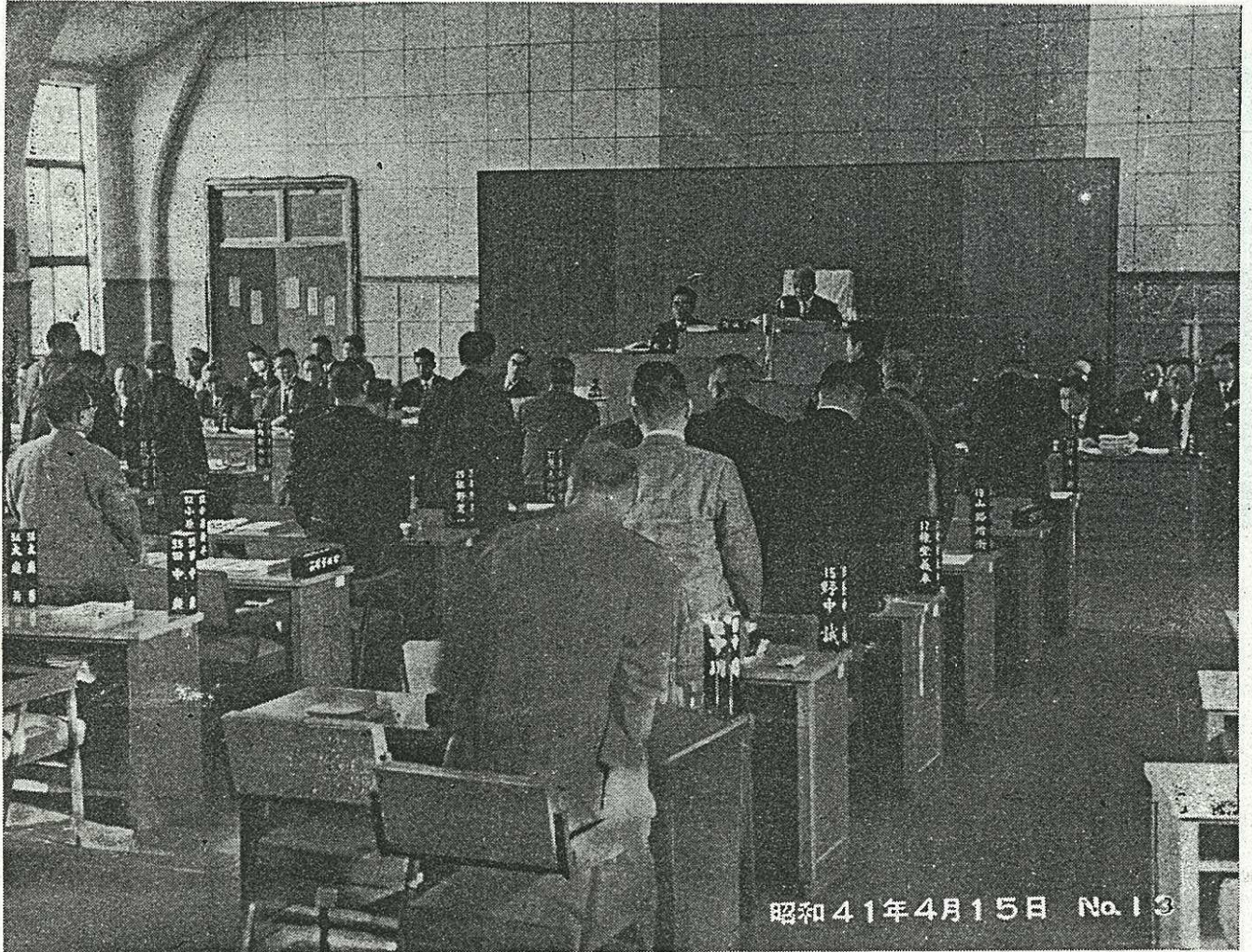


北九州

# 市議会だより

北九州市議会事務局



(41年度予算案を議決)

3月定例市議会は、二十八日間の会期中で、3月2日にはじまり、29日で終わりました。

審議された議案は、41年度予算案をはじめ、各種条例の一部改正、40、41年度補正予算案など百二件におよびました。

このうち、41年度一般会計予算案を一部修正したほか九十七議案を原案のとおり議決、三議案を承認、一議案を同意しました。

特に、昭和41年度予算案については、長期総合計画が実施にうつされる初年度の予算として、それがどのように予算のなかに組み込まれているかについて、実施計画書と予算書を首っ引きで連日活発な質疑や意見がかわされました。

# 決されるまで



予算を慎重に審査する予算特別委員会

昭和41年度予算総額は 543億2,367万8,000円で、このうち一般会計予算は一部修正されて274億8,400万円、普通特別会計（国民健康保険、と畜場、渡船、北九州大学など18会計）155億3,744万4,000円、企業会計（水道事業、交通事業、病院事業など5会計）113億223万4,000円となつていて、一般会計を市民1人当りにしますと、約2万6,300円になります。

これらの予算案について、3月8日、9日の2日間、各会派代表によって質疑を行なったのち、予算特別委員会を設けさらに3つの分科会にわかれて8日間にわたって各費目別に慎重に審査しました。

## 審議の焦点は

### 長期総合計画の予算化

#### 市長の編成方針

では、41年度予算案は、どのような考え方のうえにたつて編成されたのでしょうか。3月2日の本会議で市長はつぎのように説明しました。

「長期総合計画を計画的にすすめるために、五年後

の北九州市のあるべき姿を基本計画の中に求めて、41年度を初年度とする五年間の実施計画をたてこれを重点的に行なうため、

- (1) 清掃、足もと道路、公害対策など生活環境の浄化。
- (2) 福祉対策の充実、とりわけ子どもの教育と福祉の充実。
- (3) コミュニティの再編、開発と住宅対策の総合的推進強化。
- (4) 長期的視野にたつて生産と生活の場を合理的に配置するため

の交通体系、土地利用計画をたて、産業の振興と都市機能の充実をはかる。

四本の柱に集約しました。

実施計画のなかに盛り込まれた事業は、毎年度の予算のなかに組まれてはじめて実現するもので、その第一歩を踏み出す41年度は、

○切実な市民の要求にこたえるために一すこやかな市民生活をきづく施策をおしすすめる。

○新しいまちづくりの基礎をつよめるために一長期的施策を重点的におし進める。

ことを重点として、予算編成を行ないました」（要旨）

#### 積極性がほしい

以上のような考え方のうえにたつて編成された予算案に対して、「41年度一般会計予算は、40年度より三十三億三千万円が増加していますが、その内容を分析してみますと、人件費二七・六％生活保護費三一％と増加分の大半が消費的経費に支出されています。

「市長は、予算説明のなかで一産業基盤の整備と、市民の生活基盤の整備を、有機的な関連のもとにおし進めて行くために必要な予算を計上した」といっていますが、予算を細かに検討してみても、産業の振興と地盤沈下の解消にどれだけの役割が予算を組み込んでいるか疑問があります」

など、長期総合計画が実施される初年度の予算としては、積極性がないと指摘しながら、これを焦点として、消費的経費と投資的経費、伸びやかな市税収入、人件費と生活保護費、教育費、住宅建設と生活保護費、児童会館建設と市政映画の作製などが論議されました。

### 予算特別委員会から

#### 多い生活保護

委員 本市の生活保護者数が他市より飛び抜けて多い原因はどこにありますか。

保護課長 石炭産業の不振、中小企業の賃金が他の大都市より安いこと、中小企業の倒産と不況、ケースワーカーが少ないため保護世帯の調査不足などが考えられます。また、北九州市では、一級地の扶助費がもたらえるというところで、周辺地から転入してくることも原因があるようです。

委員 一級地ということよりも保護の認定があまく、生活保護を受けやすいので転入者が多いのではないですか。

#### 保護課長 ケースワーカーが調査して収入認定を行ない、福祉事務所長が決定していますので、本市がとくに保護を受けやすいということはありません。

委員 ほんとに困っている人には金額も引き上げてあげたいくらいですが、保護の適正化をはかるためにも、戸籍、住民票、課税台帳なども照合して再調査したらどうですか。

民生局長 実施の権限は福祉事務所長にあります。局としてもさらに指導徹底をはかりたいと思います。

委員 ケースワーカーの定員は都心部は八十世帯に一人、農村部は六十世帯に一人となっています

#### が、本市は全市を都心部として定員を定めていますので、べつべつにわけて定数をふやすくふうをしてはどうですか。

民生局長 いろいろ問題もありますが、ケースワーカーの増員なども含めて保護の適正化につとめたいと思います。

#### 県営住宅が建ちますか

委員 41年度の公営住宅の建設計画は市営六百四十戸、県営三百二十戸で僅か千戸足らずです。

39年度、40年度は、本市が政令指定市となつていて、県営住宅は一戸も建てられていませんが、41年度三百二十戸は果して建つ見込みがありますか。

建築局長 39年度、40年度は確かに建てられていませんが市としては、県に敷地の世話などとして強く働きかけています。

# 議が算予

昭和  
41年度

## 議案質疑から

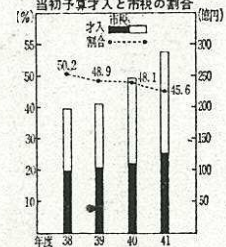
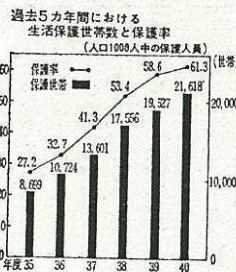
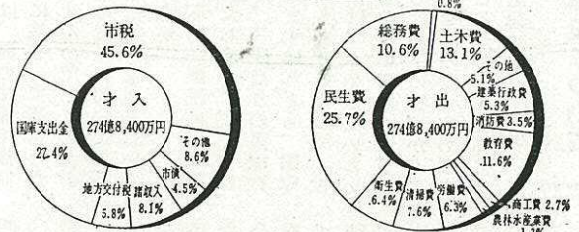
### 当初予算について

**A議員** 経済界の不況により、市税収納率は低下しているのに、市税収入は歳入欠陥になりませんか。地方交付税、国庫支出金は過少計上しているのではないですか、また、当初予算に対して相当の追加があると思いますがその点はどう考えているのですか。

本市発足以来累積している赤字は企業会計を含め約二十億円で推定されますが、40年度から41年度へかけての見通しはどうですか。

### グラフで見る予算

41年度一般会計の内訳



### 下水道対策は

なお、起債の現在高が百九十六億円となっておりますが本市の財政能力から考えて限度に近いと思いがいかげですか。

**財政局長** 市税収入、交付税、国庫支出金については一応現行制度を建前として予算計上してあります。決して歳入欠陥の心配はありませんが、今後の補正見込についていけるかどうか心配です。国にも要望して歳入確保に努力したいと考えています。40年度の決算について少なくとも単年度の赤字は出ないつもりです。

起債については、一般財源に占める割合が一応の目安になると思

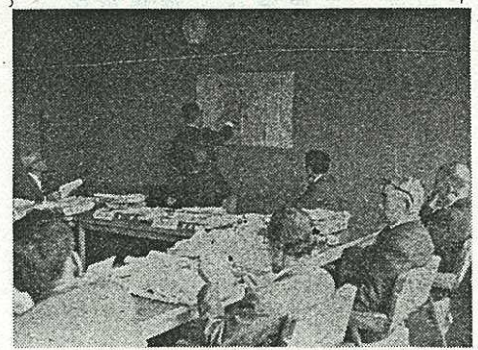
### 下水道対策は

**B議員** マスタープランによれば、45年度までに現在の下水道普及率一・九%を二八・三%に整備すると述べていますが、全市一本の長期総合計画はできているのですか。

**市長** 下水道は北九州の一番遅れている施設です。マスタープラン実施計画の中では三〇%の普及を考慮し、市全域に完全実施されるよう努力して行きたいと思

## 児童会館建設費など削除

民生費のなかの児童会館建設費3億円と、総務費のなかの市政映画製作の費用455万円、テレビ放送委託料336万円の審査では、つぎのような論議がかわされました。



児童会館の建設予定地の説明をきく第3分科会

### 児童会館建設について

**委員** マスタープランの実施計画すらも、予算面に反映しないで現状維持がせいじつぱいという苦しい財政事情のなかでどうしても建てなければならぬものですか。

その前に、各区に小さいものも建てた方がよいという市民も多い。

**民生局長** かなり金はかかりますが、財政事情がよくなるまで待つわけにも行きません。

どうしてもとおっしゃいますが建設については、議会の了承がなくては建てられません。

また、小さいものから先にしますと大きいものはなかなか建ちません。

**委員** ①中央緑地内の建設について県の許可を得ていますか。

②建設場所の地盤は大じょうぶですか。

③総建設費の四億五千万円のかな

かには附近の整備費も含まれてい

④運営方法や将来の見通しなどはどうですか。

⑤八幡の児童科学館との関連はどうなりますか。

**民生局長** ①この児童会館は、中央緑地内の公園施設として建てらるもので、建設省でもよいと言っていますし、県も了承しています。

②地盤は大じょうぶです。

③会館の建設費だけです。

④直営にするか、法人組織にするかはつきり決ってはいませんが赤字は覚悟しています。

⑤八幡の児童科学館は教育委員会の所管になっていますが、なるだけ早く善処したいと思

**市政映画の作製について**

**委員** 市政映画を作ることは、まだ時期が早いのではないですか。

**総務局長** 市政を市民に十分周知させるには市政映画も必要なのでです。

市政の内容、施設の紹介など必要なことだと思いますし、先進都

市ではすでに数本の映画をつくっているところもあります。

などの論議がかわされました。

**予算特別委員会では**

児童会館の建設については、「市財政窮迫のときでもあり、いまず建設しなくてもよい、義務教育施設の不十分な現在、児童会館建設は時期が早く、そのような経費は義務教育施設の整備等にあてるべきである」

市政映画の作製、テレビ放送委託料については、

「マスタープラン実施五カ年計画の初年度でもあり、実施の見通しをつけて、実績もおり込んだ方が市民に理解されやすい。

現在ではまだ市政映画をつくる客観状況がそろっていない。

また、テレビ放送委託料は視聴率や内容が効果と妥当性を欠く」などの理由で、委員から出された修正案を了承、24日の本会議でも賛成多数で同修正案は議決されました。

このため、児童会館建設費と市政映画製作の費用、テレビ放送委託料は削除されました。

**児童会館とは**児童の健全な育成をはかるため児童の総合センターとして、中央緑地内に総工費四億五千万円で、鉄筋コンクリート四階建(一部七階建)延面積七千九百九十三平方メートルを二カ年計画で建設しようとしたもので、41年度は三億円(うち二億五千万円は起債)が予算計上されていました。

### 教育行政について

**C議員** 教育予算が僅少であることは勢いPTA負担金などの増額となって父兄にはねかえってくることになりま。PTA会費を本来の目的に限定し、PTA負担による学校施設の改善を一切禁止するよう強力な指導をする用意がないのですか。

**市長** 学校を改築しながら、施設を増強せねばならないなどの問題点もありますが、PTA負担軽減のために処置をし、国の援助を仰ぎたいと思っておりますが、これらの問題は市の責任において、解消したいと考えているところです。

**教育長** 大都市教育行政には、基本的な難問をかかえていますので、そういう問題を解決する中で、この問題の推進に当たりたいと考えています。

### 公害対策について

**D議員** 法規制対象外の中小規模ばい煙発生施設約二百カ所に対してはなんらの融資的助成もっていない現状です。他の大都市に比べいちはん立選れている公害対策に、どのような具体的計画をもっているのですか、また人員も九名しか配置していません。

**衛生局長** 現在的人员で十分は考えていません。現在行政指導の分野は衛生局、基礎的な研究調査は衛生研究所の協力を得てやる体制をとっていますが、将来機械工学を専攻した職員が必要と考えています。中小規模の発生源(ばい煙)については県の公害防止条

例がこれを規制することになるわけですが、したがって排出基準をはっきり決めるよう条例改正に臨んで強く要望しております。その基準によって防じん施設をつけさせることができるわけです。施設診断は継続的にやること、疫学調査を九大に委託する、国の大気汚染測定網の誘致、公害パトロールの強化などを行なって公害防止の積極的な推進をはかっていきたいと考えています。

### 国保税の統一は最低

**E議員** 国民健康保険税は、これまで五区不均一であったものを、41年度から統一することですが、統一された結果、市民の負担が増加することは避けねばなりません。できる限りの低率で統一すべきだと思えます。なお、国民健康保険は、国の法律で規制され国の施策に基づいて運営しなければなりませんので、この会計の赤字は、国の責任において処置しなければならぬものと思えますがいかがですか。

**民生局長** 不均一課税は、41年度から廃止いたします。現在では受診率がふえ、一件当りの医療費の価格もふえますけれども、国庫補助等の増額もありますので、世帯当りの負担は、ふやさないといい根本的立場を貫いております。しかし、いちはん下の回ばかりには揃えられませんが、いちはん凹だったところが多少ふえることは免れないと思えます。

### 住宅建設について

**F議員** 45年には一世帯一住宅

の達成をというものを掲げられていますが、具体的施策をお聞かせねがいます。なお、市民自らの住宅建設を推進したいといわれるのなら、市が積極的の援助すべきだと思えますが、具体的施策をおもちですか。

**市長** 一世帯一住宅という政府の政策の中で、六割は民間の自力建設にまねばならないという点が弱い点だと考えますが、市の場合でできるだけ公営住宅、準公営住宅をふやしていきたいと考えています。また県営住宅、公団住宅等準公営住宅、準公営の分譲住宅等をふやしていきたい方針で実施計画をたてたところで。

**建築局長** 38年当時の計画は、五万七千戸が潜在不足戸数でありましたが、マスタープランの線にのせて計画しますと九万四千戸の不足です。これを公的資金の住宅四〇%、民間資金によるものを六〇%にしたわけです。市営住宅改良住宅等あわせて五千二百二十五戸の建設をしていきたい。

それから、県営住宅、住宅供給公社、県の住宅公社、公団等の住宅も誘致したいと考えています。なお持家政策としては、市、県の公社が勤労者向けの積立分譲を推進したり、公社を活用して、安くいい土地をできるだけ造って民間の自力建設に役立ちたいと考えています。

### 臨海工業用地造成について

**G議員** 真門司臨海工業用地造成事業の第一期工事として七十八万坪を41年度までに完成させるこ

とになっていますが、本年度予算は昨年比で五億四千万円の縮少をしております。この予算で完工できるのですか。せっかく港湾整備に何十億の予算を投じながら肝心の工場誘致もできない状態では困りますが、いかがですか。

**市長** 真門司の埋立について水も港もないところではせつかくつくっても売れませんので、進入道路をつくり、鉄道を敷設し、港湾整備を急ぎながら最少限度の利用ができるようにして、できるだけ早く造成された土地を売却したいと考えています。

### 高齢者退職と未採用について

**H議員** 人件費の増高を防ぐ対策の一つとして、高齢者の退職勧奨が行なわれていると解しているのですが、なぜ最高度に発揮し得ないのでか、また、39年度の採用試験合格者の中で未採用のまま放置されている人が七十六名にも原因していると思えますが、全員採用できるように努力すべきではないですか。なお、定年制でもつくってお気持はいいのですか。

**市長** 予定したような新陳代謝が進まないで、七十数名残っていることには、責任を感じております。未採用者はすみやかに採用できるようにし、高齢者の退職については優遇案の趣旨の徹底をはかって成果をあげたいと考えています。

**人事局長** 現在の地方公務員法では、定年制を市条例に規定する

ことはできないたてまえになっております。このことについては、いま政府でも論議されていますので法の改正が行なわれてから、どう対処するかの問題が起ってくると思えます。

### 産業基盤の整備について

**I議員** 産業基盤の整備は、都市発展の基礎です。その推進を強調しながら41年度予算を検討してみると何一つ新しいものはありません。何をもちて産業基盤の整備をするといわれるのですか。

**市長** 産業政策、経済政策は本来自国が行なう問題ですが、私どもは北九州市を産業、文化の町として整備していくべきではないでしょうか。

マスタープランの実施計画をつくるにあたり市民の切望、つまり市民生活の周辺から整備しながら問題を解決していきたいと思いたす。足らざるところは補っていたらき、よりよいものにして実施したいと考えています。

### 地方改善事業について

**J議員** 地方改善事業の対象となるべき地域が特別に開発が遅れているなら優先して処置されるべきです。全市共通の尺度で不均衡なく実施されなければならぬと思えますが、どうお考えですか。長期的展望にたつた本格的な施策がなんら出されていません。基本方針をうかがいます。

**市長** 全体の生活なり、生活環境の全面的な改善なしには解決がむずかしい問題であるだけに、政府も国の機関をあげて取り組もうとしているところだと了承していただきます。集会所など部分的な改善事業でなしに市のあらゆる面から取り組むべきだと考えているところです。

### 鉱害対策について

**K議員** 小倉炭鉱が閉山になって、その廃坑の大部分市街地の中を走っています。関係地区民は鉱害に悩まされ、移転するあてもなく不安な生活を送っている人もたくさんいます。この問題は若松、八幡にもあると思えますがどうするつもりですか。

**経済局長** 計画的な復旧ができるように臨鉱法による鉱害復旧促進地域の指定を通産大臣に強くおねがいでいます。

小倉炭鉱の閉を申し上げると、家屋との関連があつて道路、河川のみの方的か復旧施行は困難でありますので、通産省や、鉱害復旧事業団に対して、家屋復旧に対する予算についても強く要望して

### 消防行政について

**L議員** 現在分団に配備されている消防車を漸次市において引き上げ、市街地内の消防力を強化しながら余剰の消防車は急速に発展している郊外地へ出張所等を設け、配置替えを行なうことが適切な措置であり、消防力の強化になると思っておりますが、また、消防

# 常任委員会が

各常任委員会は、40、41年度一般会計、普通特別会計、企業会計の補正予算、工事請負契約の一部変更などの議案について審査しました。

40年度一般会計の補正のおもなものは、職員の前末勤勉手当、生活保護世帯に対する見舞金と、起債の決定変更による各種事業の決算見込を行なって、それを補正するものです。

これで40年度の一般会計予算総額は二百九十六億三千三百七十八万三千円となりました。

また41年度一般会計の補正は、事業の繰越しに伴う予算措置として一般会計四億六百七十万円を普通特別会計十二億六千五百七十万円、計十六億七千二百四十万円を追加したものです。

## まず生活環境の整備を

その理由は賃住団地宅地造成に伴う金融公庫の融資申し込みが予定に達しなかったため、当初の計画どおりの融資が得られなかったからです。

います。

「当初の計画より受給申請者が少なかつたため、このような減額になったことは誠に遺憾です。」

その原因がどこにあったかをよ

この対策として金融公庫融資の申し込みを逐次行なうとともに、賃住団地の交通の不便をなくすなどの対策がとられています。この問題を解決するため、バス運行回数の中巾な増加、医療施設、消防施設、電話料金問題の解決など、根本的に生活環境の整備を行なうよう要望しました。

## 母子栄養食品支給委託料の減額は遺憾

40年度一般会計予算の衛生費のなかで、母子栄養食品支給委託料六百四万一千円が減額となつています。

この委託料は、母子保健法によって、妊産婦と乳児の健康を守るために、牛乳や粉乳を支給するためのものですが、民生消防委員会

「当初の計画より受給申請者が少なかつたため、このような減額になったことは誠に遺憾です。」

につき、今こそ君の手腕と卓見を必要とする時期にあたり、君を失ったことは、まことに惜しむても余りあるところであります。」

しかしながら、生者必滅、落葉またもとに帰らずとは世のな

らいてありまして、このうえは私ども一同、故人の意を体し、

本市発展のためなおいつその努力を重ねる覚悟であります。

君の眠り安からんことをつしんでお祈り申しあげ、ここに哀悼の意を表する次第であります。」



議員 矢吹 故

## 矢吹友男議員逝去

去る1月13日、門司区出身の矢吹友男議員が心臓マヒで逝去

ら旧門司市議会議員として合併後は建設委員、九州縦貫高速自動車道路建設促進特別委員、基幹交通網整備促進特別委員長として、本市の都市建設に尽力されてまいりました。

市議会では、3月定例会の冒頭、権堂義幸議員が全議員を代表してつぎのように追悼の辞をささげました。

「ときあたかも、本市マスタープランの実施計画がその緒

されました。矢吹議員は、昭和34年5月か

く調査して、市民に周知させて、目的達成に努めるように」要望しました。

## 薬品の購入管理は適切に

公立病院の経営悪化の現象は、全国的な傾向とはいえ、市の病院事業会計は四十年間で約四億四千万円の赤字が見込まれていま

このようにひびつ迫した経営状態のなかで、さらに、既決材料費五億四千万円の約一割にも相当する薬品費を追加しなければならぬことについて論議されました。

この五千三百万円の追加は、薬品の節減のため、当初予算で年間所要見込額以下に計上したこと

と、新薬や高価薬を使用することが多くなつたことなどを主な原因として挙げられています。いままで

薬品の取り扱いが適正に行なわれていなかった面もありますので、衛生水道委員会では購入管理について適切な計画をたてて適正な使用をしよう要望しました。

## 事業はできるだけ年度内におわるよう

41年度補正予算の審査にあたって、国庫補助や起債の決定がおくれたり、用地の取得、家屋移転などが計画どおり行なわれなかつたために、やむを得ず翌年度に事業を繰越したために生ずる社会的、経済的な損失、或いは市民がこうむる直接間接の不便や迷惑などを考えて、できるだけ事業の進行をはかり、年度内におわるよう要望しました。

行政に対する抜本的改革の方策を打ち出さないうままに分団員の報酬改定を提案されていますが、どうお考えですか。

市長 都市改造などを含めて、環境の改善、その中で消防体制の強化をしたい。火災の特殊性の變化、高層建築、化学消防に対応し得る装備を強化しようとしているところだ。

消防局長 消防団の力を非常に借りなければならぬ現状であり、消防力をいっそう充実させるために、手当の統一をお願いしているところだ。なお、常備消防力が強化されてきますと、それとの関連性において各区の格差をなくすための再配置は将来の問題として十分検討していきたいと考えています。

## 産炭地振興事業について

M議員 西部の産炭地振興事業については、なんらの進展をみていない現状です。響灘理立事業実施案など、産炭地域を総合する高度の計画性の欠如によるものと考

えますがどうお考えですか。市長 産炭地振興事業と関連を

して、新生活団地を推進していきたいと考えているところだ。あるいは江川のしゅんせつ、かさあげについては、江川の直轄河川の指定と関連をして承を得、推進していききたいと考えている所だ

あるいは基幹道路の点、二島等の区画整理など計画を先行することを含めて、調査を依頼しているところだ。

## 河川浄化の問題について

N議員 紫川の不法建築については、一年たつて約三百戸から約四百五十戸にふえています。河川を浄化するといわれていますのでこの無断建築の対策について具体的にどう考えていますか。

建設局長 県宮河川ですから県の管理に協力して行なっています。具体的措置には、まだはいっていません。県と今後の方針について折衝にはいつて、今後とも代替地、低家賃住宅などの問題もおりますが、県と協議会をつくることと話を糸口がつかえました。民生安定の面もかねて慎重に対策を講じたいと思っています。

## 中小企業対策について

O議員 本市の中小企業を救済するためには、市が独自の立場で金融措置のできる制度を確立し、商工診断制度の充実と相まって、救済に立ちあがるべきと思います。中小企業育成公社もこの目的で設立されたと思うのですが、内容が充実されていません。どのように対処されるのですか。

経済局長 現在は機械の貸し付けしかやっていませんが、41年度に設備関係の融資について限定保証を実施する予定です。つづいて運転資金の限定保証もやりたいと思っています。運転資金の直接貸し付けについては大蔵省の認可がおりますので、この点についても努力し、逐次内容を充実していきたいと思ひます。



3月10日の本会議で七名の議員から一般質疑が行なわれました。以下はその要旨です。

### 一般質疑

**P 議員** 義務教育費の父兄負担軽減のため教科書を統一してはいかがですか。

北九州市内で、転校するたびに教科書が変わり児童はとまどうのは勿論ですが、その父兄負担増も馬鹿にできません。できれば、北九州市一本に統一すべきだと思いますがいかがですか。

**教育長** 各区に教科書の選定委員を設けて、現場の意見を十分しんしゃくして、なるべく一つになる方向で努力しております。基礎的な教科については種類になっていと思います。しかし教科によつては、たとえば、芸能教科のようなものは、或いは社会科のごときものは、一種類であるより区の特色や独自の研究の経過もあるもので必ずしも一つでなくてもよいと思います。

### 曾根河口湖について

**Q 議員** 曾根干拓事業地区内の曾根河口湖建設について、どのような考えですか。もともと干拓地区の河口湖ですから、地区農民に

もかんがい用水として使用させるべきです。

**企画局長** 朽網工区の完成時期と前後して、新田・馬島工地に工業用水を目的とした河口湖をつくつてはどうかという案が福岡県において発表されました。当時の北九州五市としては、北九州市の工業発展のためには工業用水が不足しているのです。ぜひ河口湖をつくるよう県と国に陳情してききました。その後いろいろ技術的検討が加えられ現在、県においては将来の用水需要見込みとにらみ合わせて立案しているということです。案ができましたら北九州市にも相談があると思います。

### 鉄道敷を道路に

**R 議員** 昭和35年9月に旧添田線の東小倉⇄水町間が廃線と決定しました。その後、旧小倉市時代

からの懸案事項として、この鉄道敷を道路にするため、私下げ運動が行なわれてきました。しかし結果は小倉鉄道株式会社に譲渡することに決つた模様ですが、その間の経緯はどうなつていたのでですか。国に対する政治工作が不足していたのではありませんか。

### 学校の火災予防対策は

**S 議員** 学校の火災予防については、再三注意を促してきましたが、どのような予防対策をたてているのですか。なお、現在木造校舎で警備員を配置していない学校は何校あるのですか。それらに対して今後どのような対策で望むのですか。

**教育長** 学校火災の予防については施設の面では、根本的には鉄筋化の方向に進んでおります。特に、必要だと思われるところには自動火災報知機を設置するようにしております。また漏電警報機は、41年度予算で全部に取付けるつもりです。

管理面では、警備員を六十校に配置しており、百六校については用務員を住み込ませています。今後、徐々に一人の住込用務員と二人の警備員を配置する方向でまいりたいと思ひます。

### 3月定例会で可決されたおもな議案

#### 41年度予算

一般会計	二七四億八、四〇〇万円
普通特別会計	一五五億三、七四五万四、〇〇〇円
企業会計	一一三億 二二三万円
計	五四三億二、三六七万八、〇〇〇円

#### 奨学資金条例の一部改正

いままでは、八幡、戸畑の両区だけで実施されていた奨学金の貸し付けを、4月1日から全市に適用するとともに条文を整備するため改正しました。

**消防団員の定員、任用、給与分限、懲戒および服務等に関する条例の一部改正**

各区まちまちであった消防団員の報酬の格差をなおすための一部改正です。

#### 市税条例の一部改正

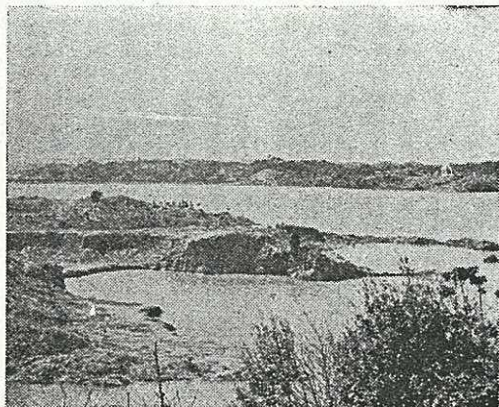
条例の一部を改正して、合併促進のための経過措置として法律で認められていた市税の五区不均一課税をなくすためのものです。

#### 市立軽費老人ホーム条例の一部改正

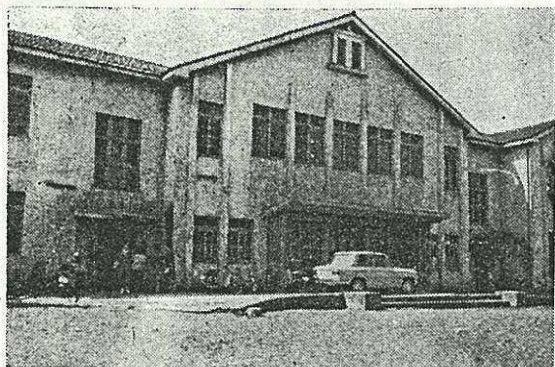
門司区六里にある市立軽費老人ホーム門司戸ノ上荘は、所得の低い老人の、福祉の増進をはかるため、利用者への年齢制限を引き下(六十五才を六十才に)るとともに、いままでの均一使用料を所得階層別使用料に改めました。

#### 北九州市立教育研究所条例

教育行政を充実し、教育効果をより向上させるため「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」にもとづき、教育に関する調査、研究、および教育関係職員の研修を行なうため、4月1日から、小倉区大手町に設置されるもので



かさあげ工事が予定される 屯田用水池 (若松区)



問もなく改築される北方母子寮 (小倉区)

しかし、北九州市だけが独自の評価方法なりによることができるかとなると、やはり現行制度上では問題があると思います。私たちがとしては可能な限り、法律・条例の示す範囲内において課税客体の把握につとめることは勿論です。

### 大企業の徴税は強力に

**U議員** 本年の市民税納税義務者数は、個人については昨年より減少し、法人については増加しているのに、税額においては個人市民税は累増し、法人市民税は漸減しています。どうしてですか。

また、現行税制度は、大企業に厚く、個人には無情な傾向にあるが、これを是正し、大企業に対する徴税を強化すべきだと思いますが、どうですか。

**市長** 税制一般から言えば、その能力に応じて税金を納めるべきだと思います。具体的な率や特別措置については、国に再検討を要請しております。

**財政局長** 市民税の個人に関するものが伸びる法人に関するものが伸びていないのは、特別に税法上の措置によるものでなく、それぞれに景気の変動があると思います。

### 区画整理地区内の整備は早急に

**V議員** 12月議会で区画整理地区内の道路行政について要望しましたが三ヶ月経過した今日に至るも何ら施行した形跡がありません。市内十カ所の区画整理地域内には多くの小学校、市場があります。足もと道路行政があまねく市民に及ぼされるべきだと思います。いかがですか。また同じ地域内の公園造成と整備は区画整理施行後もそのまま放置されています。主要な公園ぐらいいは計画の繰上げ施行を行なうなど適切な処置をすべきだと思いますがいかがですか。

### 母子寮の改築を

**W議員** 福祉対策の充実を公約しておきながら、北九州市内に点在する母子寮のほとんどは、いづれも建物が古く住居とはいえない状態です。これらの古い施設の改築と多くの人数をかかえた母子家庭に對しどのような対策をされるのですか。

**民生局長** 公立母子寮が六つと民営のものが一つ計七カ所あって百九十二世帯がはいれるようになっております。これらは、老朽の程度がひどいので、現在、改築しているところもあり、塗装、修繕を計画しているところもあります。

しかし、現在の母子寮は非常に狭いので、母子世帯住宅など根本的な問題と取り組んでいきたいと考えているわけです。

### 一九九号線の早期完成を

**X議員** 一九九号線は、昭和29年に計画され、本年で十年以上も経過しますが、いっこうに進捗されておられません。工事の中絶をしているような感じさえ受けました。北九州市発展のために予算を増額して、43年の完成目標を42年に繰り上げ一年でも早く完成すべきだと思えます。それを47年を完成目標としたのはなぜですか。

**建設局長** 全市的な視野から、交通体系の計画を立案実施しています。特に一九九号線については

はたいへん遅れておりますが、これは港湾管理組合の埋立てや国庫補助、補償問題等との関係があり、本意ながら当初計画から延び大変申し訳ありません。41年度当初予算について今後更に国と折衝して増額したいと思っております。

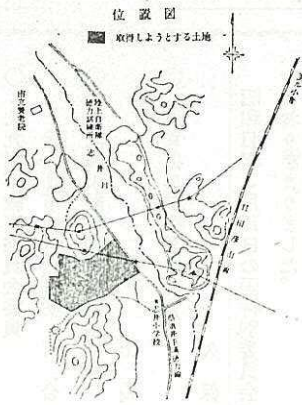
### 民生・福祉対策の強化を

**Y議員** 民生・福祉に従事する職員の教育、指導はどのように行なっているのですか。その実態調査を身体障害者団体に委託したというのですが、これらの調査は市の責任において十分な経費で実施すべきであるのに、体の不自由なこれらの団体にわずかな経費でなぜ委託したのですか。また、身体障害者福祉村の建設をパイロットコミュニティの一環として計画すべきではないですか。

**民生局長** 職員全般の研修については、職員研修所等で行なっておりますが、福祉事務所の職員や施設の職員については、福祉事業を実際にやっている人を呼んで基礎的な心構えの講習をやっています。

その実態調査については、推定か抽出調査しかありません。身体障害者協会より自分たちの手で調査をさせて欲しいという申し出があったので委託したわけです。

身体障害者の福祉村建設については、国でいうコロニーにちかいたいものでも考えてみたいと思えます。



**北九州市立市民会館条例の一部改正**

土地の取得について

国立北九州工業高等専門学校市民会館の設備改善のため、新誘致にともない、小倉区大字志井の土地約九万一千八百七十一平方メートルを取得して国との交換渡地とするため。

(場所は次図のとおり)

### 昭和40年度補正予算

一般会計	六億五、七二五万一、〇〇〇円	4月1日から新たに文学部を設けるための改正です。
普通特別会計	△四億二、五九八万九、〇〇〇円	41年度補正予算
企業会計	一億六、八一八万九、〇〇〇円	一般会計
計	三億九、九四五万一、〇〇〇円	普通特別会計
		十二億六、五七〇万円
		十六億七、二四〇万円

### 41年度も調査を続行

一門司観光協会に支出された観光奨励金

さる12月定例会本会議(12月21日)で、地方自治法第百条第一項の規定にもとづいて、経済交通委員会に調査を付託されました一門司観光協会に支出された観光奨励金補助金の行政効果について、現在まで十回にわたって調査しましたが、まだ明らかにできない点が残されていますので、41年度も引き続き調査することになりました。

# おしらせ 請願と陳情

## 請願 — 採択されたもの —

- 運動場拡張について（八幡区熊西中学校）
- はりきゅう補助金の増額について
- 市道廃止について（八幡区熊西中学校）
- 通学道路の新設について（八幡区永大丸）
- 防火水槽の設置について（小倉区朽網）
- 陣山工業地帯の用途地域変更計画について
- 校舎増築ならびにプール、講堂、外柵等の建設について（八幡区永大丸小学校）
- 槻田中学校下水溝の上蓋設置について
- 踏切の拡巾について（小倉区中原灘見町）
- ノリ共同作業保管施設建設費に対する補助について
- 道路の拡巾および舗装について（八幡区大蔵）
- 志井川堤防改修について
- 道路舗装について（小倉区馬借町）
- 道路舗装および側溝整備について（小倉区上城野町）
- 企救公民館改築について
- 道路舗装および側溝整備について（小倉区東清水町）
- 道路舗装について（小倉区清水新生町）
- 道路舗装について（小倉区井堀町）
- 道路舗装について（門司区大積小学校父母教師会）
- 保育園の設置について（戸畑区大谷）
- 母子栄養牛乳の価格の是正について
- 精神薄弱児（者）対策について
- 養護学校（精神薄弱児対象）の新設について
- 中学校の特殊学級と職業教育の充実について

## — 不採択になったもの —

- 下水道の整備について（小倉区宮田町）
- 道路舗装について（戸畑区丸町）
- 公害防止について
- 水道管理設について（八幡区油田町）
- 身体障害者更生相談員制度市条例制定について
- 簡易水道の敷設について（八幡区笹田）
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 鶏舎に対する固定資産税の減免について
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 水道料金値上げ反対について
- （理由）水道条例の一部改正が議決されたため。
- 鮮魚商の水道料金値下げについて
- （理由）水道条例の一部改正が議決されたため。
- 年末見舞金及び貸付金等の増額についてほか39件
- （理由）趣旨を了解し市において出来るものについてはすでに善処している。
- 保育料の引き下げについて
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 現物支給について ほか12件
- （理由）趣旨を了解し市において出来るものについてはすでに善処している。
- 保育施設の充実について（若松区二島）
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 生活保護費の引き上げについて ほか72件
- （理由）趣旨は了承出来るが現時点では法のたてまえから趣旨にそいがたい。
- 授産施設の充実について
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 保育所の建設について（八幡区中尾町）

- （理由）趣旨にそいがたい。
- 日韓条約反対についてほか16件
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 機構改革反対について
- （理由）趣旨にそいがたい。
- 米軍飛行機等の飛行反対について
- （理由）趣旨にそいがたい。別途議会の意とする議決をなしている。
- 公共料金引き上げ反対についてほか1件
- （理由）趣旨にそいがたい。しかし、国においても国民生活に急激な影響を及ぼすことのないよう配慮を要望する。
- 市政の民主化について
- （理由）趣旨不鮮明であるため。
- 道路整備について（小倉区宮田町）
- （理由）公道でないため。
- 道路整備について（八幡区田町）
- （理由）公道でないため。
- 藤松市宮住宅分譲について
- （理由）再開発のため。

## 陳情 — 採択されたもの —

- 帆船ケーブル少額出資者の株式買収方について
- 教護院の設置について
- 屯田第二貯水池嵩上工事に伴う補償について
- へき地学校統合寄宿者設置について
- 北九州市立教育センター設置早期実現方について
- 教室の増築について（戸畑区大谷小学校）
- 通学道路新設について（門司区柳小学校）
- 道路の簡易舗装ならびに側溝設置について（小倉区黒原本町）

- 道路用地交換について（戸畑区浅生通）
- 建具工事直接発注について
- 上水道配水管並びに同支管の延長追加工事の促進について（小倉区曾根）
- 先天性心臓病児に対する育成医療予算拡充について
- 則松小学校の新設について
- 北九州市立図書館整備拡充について

## — 不採択になったもの —

- 大正炭鉱離職者に対する年末援助について
- （理由）趣旨を了解し市においてすでに処置をなしている。

## 人事紹介

3月定例市議会できまった役員はつぎのとおりです。

- 北九州市教育委員会委員 河合 正 武
  - 福岡都市計画地方審議会委員 山崎 末 吉
  - 門司区農業委員会委員 久保 利 男
- 昭和41年3月12日の両特別委員会では左記のとおりきまりました。
- 行政区域等調査特別委員会 委員 長 二重作 義雄
  - 基幹交通網整備促進特別委員会 委員 長 木村 好 夫  
副委員長 間 秋之助